

福岡座禅道場俳句会三月句会結果

天 旧居あと探しあぐねて寒椿 (宗道) 8点

地 芽柳の空ごと水に映りをり (宗道) 7点

人 土筆追い夫は昼にも帰り来ず (白堂) 6点

人 木蓮の一気に開化天を指す (宗道) 6点

春場所や装い淡き棧敷席 (霊峰)

鳥雲に母の便りの未だ来ず (浄淵) 3

啓蟄の坐禅道場戸が開く (日下部)

紋白蝶一連の峰あおおし (真光) 5

麦青む畑中道の散歩人 (寶州) 3

旧居あと探しあぐねて寒椿 (宗道) 8

春の朝いつてらっしやい気をつけて (日下部) 1

摂心や冴え返る中引き締まる (無傳)

ぜんまいにいくわして眉開きけり (霊峰) 2

朝まだき木枯らしの中君逝きぬ (白堂) 1

芽柳の空ごと水に映りをり (宗道) 7

はうれんそ母と並びて間引きせし (浄淵) 4

白蓮の撫づりし髪や百の雛 (真光) 2

冴えかえる桜坂で立ち往生 (日下部)

連翹や余寒をうけてちらほらと (無傳)

春霞うれしやかなしやいずれかな (寶州) 2

フラー舞い上がりたるまま北帰行 (白堂) 4

童女きて余寒の禅堂のみけり (宗道) 5

四肢伸ばすしろつめ草の河原かな (浄淵) 3

街灯の沈黙落つる春小雪 (真光) 2

刈り上げて襟足青き春の子等 (霊峰) 4

朧月眺めて独りワンカップ (日下部) 4

啓蟄やにぎわいにける土の中 (無傳)

土筆追い夫は昼にも帰り来ず (白堂) 6

春の雨門口遠い一日なり (真光) 1

鳥雲に故郷離れて五十路かな (浄淵) 2

鶯の鳴く山里の静けさよ (寶州) 2

鈴のひも黒く光りて宮の春 (宗道) 1

踏み入れる隙間もなしに土筆かな (寶州) 2

春泥や少し錆びたる耕耘機 (霊峰) 3

道すがら伝わる風や彼岸入り (真光) 3

咲き初めしサクランボの枝に早メジロ (白堂) 2

山笑うこの山越せば新境地 (日下部) 5

石据えに船頭多し春の作務 (寶州) 1

木蓮の一気に開花天を指す (宗道) 6

釣釜の揺れ止むを待つしじまかな (霊峰) 5

春の市終日止まぬ拡声器 (浄淵) 1

※ 4月俳句会の投句締切は、十九日(日)です。五句までの投句をお願いします。 霊峰拝